8 2006 月号
No. 9
平成18年8月1日発行

広報 けせんぬま

人と自然が輝く
食彩豊かなまち

目次

平成18年度予算が成立しました … 2
県際市町災害時相互応援協定を締結 … 4
おもてなしのまちづくり講座を開催 … 5
まちの話題 …… 6
健康プラザ …… 8
この人にインタビュー/すてきな仲間 … 10
図書館だより …… 11
お知らせ …… 12
子どもの広場／8月の各種相談 …… 15
ふるさと再発見 …… 16

ナイスキック！

気仙沼フットベースボール協会などが主催する第28回少女フットベースボール大会が、7月16日、南運動広場で行われました。南気仙沼小学区と大島小学区の6チームが参加しました。子どもたちは、梅雨の晴れ間の日差しを受け、懸命にボールを追っていました。

平成18年度 予算が成立しました

一般　特別　企業会計　総額で519億円

新市の本予算が成立

本市では、3月31日の合併に伴い、平成18年度予算については、4月から6月までの暫定予算を編成し、行政運営を行っていました。

暫定予算は、年度開始までに予算が成立する見込みのない場合や、新たに地方公共団体が設置された場合などに、年間の予算が成立するまでの一定期間に、暫定的に編成される予算です。

したがって、暫定予算には、政策的な判断を要する事業経費などは計上されず、義務的な経費が中心でした。

市では、市議会6月定例会に平成18年度の予算案を提案していましたが、委員会などでの審議を経て原案どおり議決され、新市の予算が成立しました。

新市建設計画が基本

今回成立した予算は、実質的な新市の最初の予算となるものです。新市建設計画を基本に、均衡ある地域の発展を目指し、教育施設の整備をはじめ、地震・津波などの防災対策を積極的に進めるとともに、産業振興、福祉の充実、生活環境の整備など、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めました。

● 平成18年度各種会計予算 ●

会計別		予算額（千円）
一般会計		20,424,159
特別会計	土地	16,815
	国民健康保険	6,451,060
	老人保健	5,104,108
	介護保険	2,467,622
	介護認定審査会	24,318
	魚市場	1,563,595
	青果市場	5,467
	索道	44,813
	唐桑半島ビジターセンター事業	5,156
	駐車場	33,905
	公共下水道	2,566,637
	集落排水	75,296
	簡易水道	97,393
	小計	18,456,185
公営企業会計	水道事業	2,543,423
	ガス事業	482,931
	市立病院事業	10,009,636
	小計	13,035,990
合計		51,916,334

一般会計の主な事業

※1万円未満切り捨て

参画と協働でともに築くまちづくり

■広報広聴活動の充実（市勢要覧作成、行政情報番組放送委託　ほか）　3、406万円

■コミュニティ助成金（コミュニティ団体の備品整備に対する助成）　1、150万円

■市民活動支援センター運営事業　196万円

■男女共生推進事業（講演会の開催　ほか）　143万円

安全・安心・快適なまちづくり

■消防・防災対策の充実（地域防災計画・国民保護計画策定経費、潮位・津波観測システム統合経費　ほか）　1億3、022万円

■非核平和推進事業（青少年ピースフォーラム派遣、平和学習報告会の開催　ほか）　54万円

■浄化槽設置補助金　2、500万円

■塵芥（じんかい）処理対策（ごみ収集業務、生ごみ処理機等購入費補助　ほか）　1億3、611万円

■住宅防災費（木造住宅耐震診断事業と危険ブロック塀等除却事業への助成）　202万円

■生活路線バスの運行委託　1、859万円

■本郷古町線整備事業　1、770万円

■一般市道整備　9、373万円

地域資源を活用した活力ある産業のまちづくり

■中山間地域等直接支払事業　1、878万円

■漁港整備事業（気仙沼漁港広域漁港整備事業等負担金、宿舞根漁港漁村再生交付金事業　ほか）　1億1、477万円

■あわび等稚貝放流事業補助金　350万円

■宮城大学食産業学部地域連携事業（大学と連携した商品開発などのための研修　ほか）　50万円

■気仙沼産業センター・テーマ館整備事業補助金　1、280万円

■商店街イベント事業等助成金　300万円

■起業化促進支援事業補助金　200万円

■観光パンフレット作成費　350万円

一般会計は約204億円

一般・特別・企業会計、17会計の総額は、519億1、633万円となりました。

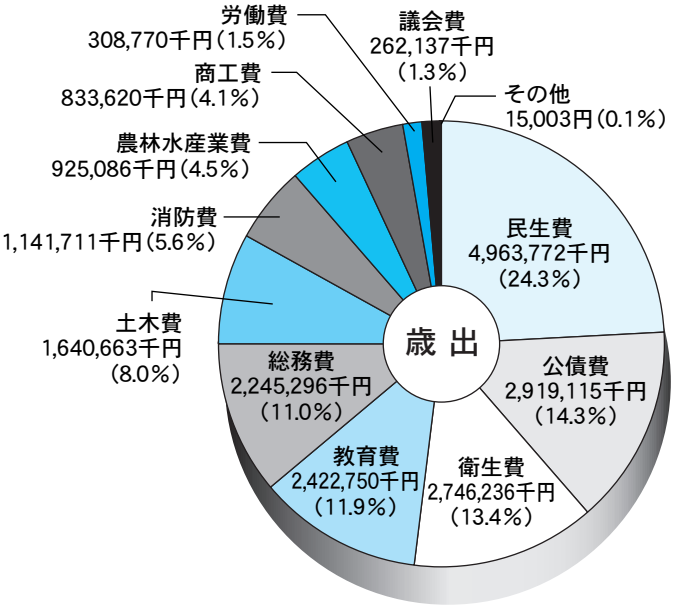
このうち一般会計は、204億2、415万円となっています。歳入では、大きな柱となっている地方交付税と市税が、国の三位一体の改革、市内経済の低迷や人口減少などにより、減収傾向にあります。

一方、歳出では、社会福祉や児童福祉、生活保護などの支出に充てる民生費、市の借入金の返済に充てる公債費、市民の健康の維持や環境衛生に充てる衛生費などが大きな割合を占めています。

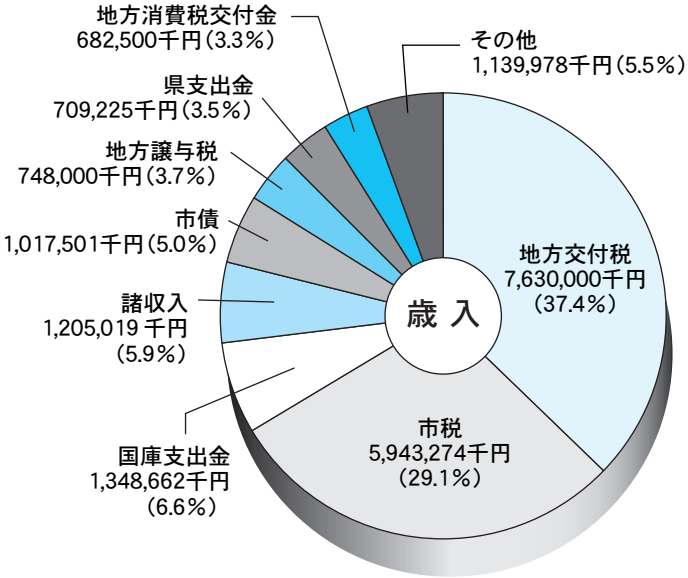
魚市場南側施設の整備を継続します

一般会計 20,424,159千円

歳出（目的別）



歳　入



たがいに支えあい健康に暮らせるまちづくり

■地域医療の確保（市立病院事業会計繰出金、在宅当番医制事業委託　ほか）
8億683万円

■在宅老人福祉の充実（介護予防・地域支え合い事業　ほか）
5、546万円

■介護保険特別会計繰出金
3億4、771万円

■身体障害者・知的障害者福祉の推進（障害者計画・障害者福祉計画策定、障害程度区分認定調査費・認定審査会運営費、障害者生活支援センター事業委託　ほか）
6億1、269万円

■社会福祉の推進（社会福祉協議会運営費補助金、ふれあいのまちづくり事業補助金）
4、911万円

■生活保護扶助費
5億円

■老人保健事業（各種検診業務委託　ほか）2億421万円

■児童福祉の推進（保育所・児童館運営費、ファミリー・サポートセンター事業、児童手当、児童扶養手当　ほか）
18億842万円

■留守家庭児童保護育成事業
548万円

■「気仙沼スローフード」都市推進事業
140万円

学ぶことをとおして豊かさを実感できるまちづくり

■文化財保護・文化振興費（文化財マップ作成経費　ほか）
1、024万円

■総合体育館費
6、733万円

■月立小学校建設事業
2億7、926万円

■唐桑小学校建設敷地調査費
2、000万円

■九条小学校校舎耐震化事業
280万円

■学力向上対策費（小・中学校への外国語指導助手の配置）
3、371万円

■青少年育成支援センター費
1、039万円

■国際交流等推進事業（舟山市南海実験学校受入事業　ほか）
556万円

その他の事業

■合併記念式典開催経費
360万円

■総合計画策定経費
200万円

■魚市場南側施設整備事業（魚市場特別会計）
11億2、317万円

■汚泥炭化施設整備事業（公共下水道特別会計）
12億9、200万円

災害時相互応援協定を締結

岩手・宮城県際の11市町が、大規模災害時の支援体制の確立を図るため、岩手・宮城県際市町災害時相互応援協定を締結しました。

■協定締結市町マップ

岩手・宮城県際11市町が協定

岩手・宮城県際市町災害時相互応援協定締結式が、7月6日、一関市役所で行われました。

災害時は物資・人員などを相互に応援します

大きな災害が発生した場合、被害の状況によっては、一つの自治体だけで対応するのは困難になります。このような場合、応急措置などを迅速に行うためには、近隣の市町の支援が不可欠です。

岩手県南と宮城県北地域の災害時の支援体制については、平成12年7月に、この地域の37市町村により「岩手・宮城県際市町村災害時相互応援協定」が締結されていました。しかし、市町村の合併により構成市町村に変化があったことなどの理由により、改めて11市町で協定を締結したものです。

情報・物資・人員などでの応援

協定の締結により、暴風や豪雨・洪水・地震・津波・火災などの災害で被災した市町は、協定市町へ応援要請することができるようになるほか、自主応援も可能としています。

なお、応援の種類については次のとおりとなっています。

①応援措置などを行うにあたり必要となる情報の収集と提供
②食料・飲料水・生活必需物資とその供給に必要な資機材の提供
③被災者の救出、医療、防疫、施設の応急措置などに必要な資機材・物資の提供
④災害応急活動に必要な職員など（消防団員を含む）の派遣
⑤国民保護法に基づく国民保護のための措置
⑥その他要請のあった事項

災害時における民間企業の協力体制整備も進める

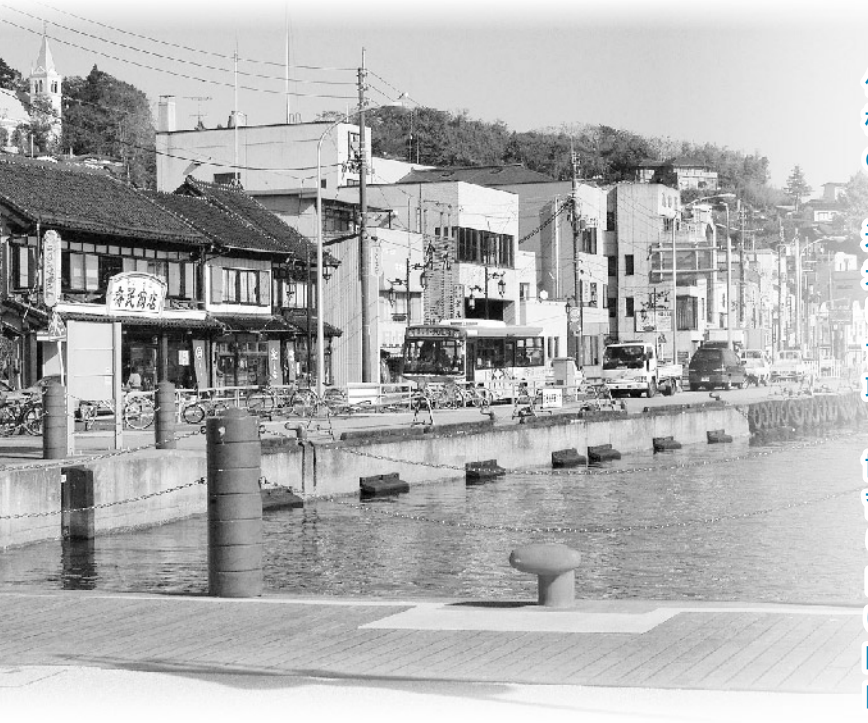
市では近隣自治体との相互応援とともに、市内の民間企業に対し、災害時に企業の施設などを避難所として提供いただくよう依頼するなどして、もしものときの避難場所の確保を図ってきました。

7月12日には、イオン株式会社ジャスコ気仙沼店と「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。これは、災害時における応急対応のため、市が緊急に必要とする生活物資などを優先的に供給していただくとともに、避難場所の提供や避難者への対応などについても協力していただくことを盛り込んでいます。

また、民間企業が災害時にどのような協力をすることができるのかを登録していただく、登録制度についても検討することにしており、今後とも、民間との協力体制整備をいかにして進めるか、模索していくことにしています。

市民のおもてなしの心で観光のまちづくりを推進

～ おもてなしのまちづくり講座を開催 ～



市では、交流人口の増大による地域の活性化を目指しています。この交流機会の大きな柱になるのが観光であり、様々な手法で観光の振興を図っていくことが必要です。

このような中、市風待ち観光まちづくり推進協議会が、昨年度、国土交通省の「都市観光の推進による地域づくり支援事業」を実施し、内湾地域の建物などの地域資源の見直しするとともに、これを観光地づくりに生かす取り組みを行いました。

今年度は、市おもてなしのまちづくり推進協議会が、国土交通省の「地域再生等担い手育成支援調査事業」を活用し、市民一人ひとりがおもてなしの心で観光客に接することを目指して、おもてなしの理念や技能技術について学ぶ「おもてなしのまちづくり講座」の開催などを通じて、観光を担う人材の育成を図ることにしています。

観光産業は、地域に大きな経済的効果をもたらし、地域の活性化に大きく寄与しています。

平成16年度の宮城県の観光入り込み数は、約5、100万人でしたが、旅行での消費だけで約5、100億円、波及効果を含めると約8、700億円の経済効果があったといわれています。

観光振興によるまちづくり

近年の観光は、団体を主体とした見る観光から、グループや家族を主体とした、地域の歴史・文化、産業、自然などにふれあい、体験する観光に変わってきています。

本市には、豊かな自然や港まちの歴史、産業、食など、全国に誇れる魅力が数多くあります。

観光客に、このような魅力を体感してもらうためには、観光事業者だけでなく、市民と一体となって、これらの資源を見直し、地域に誇りと愛着を持てるようなまちづくりを進めなければなりません。

「おもてなしのまちづくり講座」を開催

観光客に地域の魅力を知ってもらい、来て良かったと思ってもらうためには、まずは、気仙沼に住んでいる私たちが地域の魅力を知り、それを伝えることが大切です。

このようなことから、観光協会をはじめ商店会、商工会議所・県・市などで構成する「気仙沼市おもてなしのまちづくり推進協議会」では、国土交通省の「地域再生等担い手育成支援調査事業」を活用し、市民一人ひとりが観光ガイドの意識を持ち、地域の魅力を伝えていただくことを目的とした「おもてなしのまちづくり講座」を開催しています。

（今後の開催内容及び申し込み方法については、広報などでお知らせします。）

市民一人ひとりが観光案内人

おもてなしの心で観光客に接することは、特別なことではありません。「街中で出会ったら、笑顔であいさつをする」「迷っている人がいれば教えてあげる」といった、ごく普通のことです。

本市を訪れた方が、温かなおもてなしを受ければ、リピーターとなり、また、気仙沼の魅力の情報発信者になってもらえると思います。市民の皆さん一人ひとりが、常日ごろ、おもてなしの心を持って、観光客を迎えましょう。

まちの話題

災害に強い漁業地域づくりを目指して

水産庁がまとめた「災害に強い漁業地域づくりのためのガイドライン」説明会が、７月11日、中央公民館で行われました。

このガイドラインは、地震と津波から漁業者や来訪者を守り、被災後の水産物流通機能を確保する対策を提示したもので、気仙沼港をモデルとして策定されています。説明会では、水産庁職員が「漁港などの耐震整備と合わせ、漁業者などが避難できるルールづくりも進めるべき」と語るとともに、関係者が一体となった取り組みが流通機能の確保につながるという考えを示しました。

また、今後予想される宮城県沖地震に伴う津波の浸水予測図や操業中の漁船の避難方法など、最新の研究結果が示されたほか、市危機管理課から本市の防災に関する取り組みも報告されました。会場を訪れた漁業関係者などは真剣な表情で説明に聞き入っていました。

夜回り先生の講演を多くの市民が聴講

第56回社会を明るくする運動気仙沼市地区実施委員会主催による、夜回り先生こと水谷修氏の講演会が、７月５日、市総合体育館「ケー・ウエーブ」で開催されました。

水谷氏は、横浜の定時制高校の教員時代に、授業終了後の深夜の繁華街を回り、子どもたちに声をかけて悩みを聞き、薬物や暴力団との関わりなどの問題を一緒に解決するという活動を続け、夜回り先生と呼ばれています。講演会には、約2000人の市民などが訪れ、高校生や中学生の姿も多く見受けられました。会場を埋めた聴講者たちは、長年の体験に裏打ちされ、子どもたちを愛するという信念に満ちた夜回り先生の迫力ある話に引き込まれ、感銘を受けた様子でした。

巡視船「くりこま」が寄港

巡視船「くりこま」が入港し、７月９日、入港歓迎式と一般公開が行われました。「くりこま」は海上保安庁第二管区海上保安本部所属のヘリコプター甲板を備えた大型巡視船で、海難救助活動、災害救援、領海警備などの任務にあたっています。
この日は、「くりこま」が、巡視船の潜水夫を主人公とする映画・テレビドラマのロケにも使用されたとあって、大勢の市民が見学していました。

小さな武道家も奮闘

宮城県防具付空手道選手権大会が、７月９日、市総合体育館「ケー・ウエーブ」で開催されました。これは、宮城県防具付空手道連盟が毎年開催しているもので、今回で32回となります。
試合は、防具を着けて戦う組手と形の部に分かれています。組み手では、小学生以下の幼児の部も設けられ、小さな武道家が、気合いの入った試合を展開していました。

「にいつきパーキング」がオープン

国道284号にいつきパーキングが完成し、７月20日、市主催による開所式が行われました。同パーキングは、国道284号を利用するドライバーなどの利便と地域振興のため、県が平成16・17年度で、下八瀬地内に整備したものです。
パーキングは、4,500㎡の敷地に便所とあずま屋、小型車12台、大型車５台の駐車スペースなどが整備されています。
これから本格的な観光シーズンを迎え、観光客などの利用が期待されます。

すこやか通信

これがポイント

家庭での食中毒対策

食中毒は、有害な細菌やウィルス・化学物質などを含む飲食物を摂取した結果起こる下痢・おう吐・発熱などの健康障害の総称です。

食中毒は、飲食店などでの発生がほとんどと思われがちですが、家庭での発生も意外と多く、高温多湿となる夏に多く発生します。正しい知識で予防すれば、食中毒の発生を防ぐことができます。

食中毒予防の三原則は、**『原因菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」』**です。この三原則を守るため、次のことに注意しましょう。

生 鮮食品に注意しましょう

○生鮮食品は新鮮なものを購入し、消費期限を確認しましょう。
○温度管理が必要な食品は最後に購入し、購入後はすぐに冷蔵庫に入れましょう。
○手や調理器具は常に清潔にしましょう。

冷 蔵庫の過信は禁物です

○冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は－15℃以下にしましょう。
○冷蔵庫の詰めすぎに注意しましょう。（7割くらいが目安）

調 理後は速やかに食べましょう

○調理前、調理後に長く放置しないようにしましょう。
○時間の経過しすぎた食品は捨てましょう。
○調理途中で放置しないようにしましょう。

十 分に加熱しましょう

○残った食品を温め直すときは、十分に加熱しましょう。
○食品を加熱するときは、中心部が75℃になるまで、１分以上加熱しましょう。

問い合わせ先／市健康介護課健康増進係☎(21)1212

平成18年度　胃がん検診日程（後期日程）

指定された日程が都合の悪い方は都合のよい日を選んでください。
申し込みされなかった方についても受診できる場合がありますので問い合わせください。

月日(曜)	検診会場	対象地区
8月22日(火)	勤労青少年ホーム（サンパル・中央公民館隣）	弁天町2、潮見町1・2
8月23日(水)		川口町、内の脇2
8月24日(木)		弁天町1、魚市場前
8月25日(金)		内の脇1・3
8月22日(火)	落合小学校	上・下廿一、上・下前木
8月23日(水)	古町３区自治会館	滝の入1、古町1、新町2
8月24日(木)		古町2、福美町、新町1
8月25日(金)		滝の入2、古町4
9月 5日(火)		古町3
8月29日(火)	市民会館	幸町1・3・4、三日町1・2
8月30日(水)		化粧坂、沢田、魚町1・2 港町・河原田1・2
8月31日(木)		八日町1・2、陣山 太田1・2、入沢、魚町3
9月 1日(金)		南町1・2、柏崎、仲町 南町3・4、南が丘

月日(曜)	検診会場	対象地区
9月 5日(火)	総合市民福祉センター（やすらぎ・鹿折）	東中才1・3
9月 6日(水)	梶ヶ浦漁村センター	梶ヶ浦、小々汐
9月 7日(木)		大浦、鶴ヶ浦
9月 6日(水)	水梨文化館	羽田、水梨
9月 7日(木)		金取、前田、大石倉
9月 8日(金)	松岩公民館	石甲、三峰、牧沢
9月12日(火)		赤岩五駄鱈、老松、赤岩 平貝
9月13日(水)		後沢2・3、浦田
9月14日(木)		松崎五駄鱈、後沢1、舘森

受付時間／午前７時15分から９時30分まで
問い合わせ先／市健康介護課健康予防係　☎(21)1212

8月の休日救急当番医

6日(日)

中原クリニック（田谷）
☎（２３）１０２８

三条小児科医院（田中前）
☎（２３）００８８

松谷歯科医院（仲町）
☎（２２）７０６２

13日(日)

木島医院（神山）
☎（２３）１０１１

小野医院（唐桑町宿浦）
☎（３２）３１２８

みうら歯科クリニック（長磯船原）
☎（２７）４１４５

20日(日)

大里胃腸科内科医院（南郷）
☎（２２）７１５７

村岡外科クリニック（仲町）
☎（２３）３９９０

皆川歯科医院（赤岩五駄鱈）
☎（２２）９６１１

27日(日)

森田医院（八日町）
☎（２２）６６３３

相澤内科医院（陣山）
☎（２２）６６２３

佐藤医院（唐桑町馬場）
☎（３２）３１０６

米倉歯科クリニック（南郷）
☎（２２）９９５５

問い合わせ先

気仙沼市医師会
☎(22)0842・☎(22)8383

気仙沼歯科医師会
☎(24)6060

8月の健康診査と健康相談

4カ月児健康診査

■17日(木)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成18年4月1日～4月12日生まれ

■18日(金)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成18年4月13日～4月30日生まれ

1歳6カ月児健康診査

■31日(木)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成17年1月1日～1月23日生まれ

2歳6カ月児健康診査

■24日(木)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成16年1月4日～1月22日生まれ

3歳児健康診査

■25日(金)
受付時間／午後0時15分～0時30分
対象／
平成15年1月11日～1月26日生まれ

子育て相談

■23日(水)
受付時間／午前9時30分～10時30分
対象／就学前の乳幼児

【持参するもの】
①母子健康手帳
②問診票（子育て相談については会場に用意してあります）
③バスタオル

健康診査・相談会場／市民健康管理センター「すこやか」
申込・問い合わせ先／市健康介護課健康増進係（すこやか内）☎(21)1212

8月の献血日程

実施日	種別	受付時間	実施会場
10日(木)	全血	9:00～10:30	東北電力㈱気仙沼営業所
		11:30～12:30	お魚いちば
		14:00～15:00	医療法人移川哲仁会三峰病院
18日(金)	全血	9:00～11:30	気仙沼市役所
		13:00～15:00	デイリーポート新鮮館気仙沼店
28日(月)	全血	9:00～11:00	宮城県立気仙沼高等技術専門校
		12:30～15:00	医療法人敬仁会大友病院

問い合わせ先／市健康介護課健康予防係（すこやか内）☎(21)1212

この人にインタビュー

斎藤絵美 さん

梶原景子 さん

斎藤絵美 さん ・ 梶原景子 さん

（2006 キャンペーンガール）

気仙沼青年会議所主催による、「あなたが選ぶ“みなとっ娘”コンテスト」が７月15日に行われ、様々なイベントで気仙沼の魅力をピーアールするキャンペーンガールが決定しました。今回は２人にお話を伺いました。

「もっと気仙沼の魅力を知りたい」

▼選ばれた感想は▼

大変光栄なことだと思うと同時に、責任も感じています。審査員の方にいわれて、ものまねをやったのですが、これで、自分をピーアールすることができたと思います。

▼今後１年の抱負は▼

気仙沼は海と山があり、とても景色のよいところです。また、新鮮な海の幸も豊富です。私は、県南の大河原町の出身ですが、気仙沼に来てホヤやウニを食べられるようになりました。気仙沼の魅力を多くの人たちに伝えていきたいですし、私自身、もっと気仙沼の魅力を知りたいと思います。

「気仙沼は人情深いところ」

▼選ばれた感想は▼

まさか選ばれるとは思っていなかったので驚いています。会社から薦められて応募したので、会社の方々が喜んでくれると思います。

▼今後１年の抱負は▼

私は、気仙沼生まれ、気仙沼育ちですが、気仙沼の人たちはすごく人情深いと思います。この点をどんどんピーアールしていきたいと思いますね。気仙沼を離れている多くの友達にも、気仙沼のよさを分かってもらって「気仙沼に帰ってきたい」といってもらえるようにしたいですね。

すてきな仲間

宿打ち囃子獅子舞保存会

『地域の伝統芸能を伝えていきたい』

- **設　　立**　昭和47年9月
- **代　　表**　鈴木新二
- **会　　員**　50人程度
- **主な活動**　打ち囃子と獅子舞の伝承保存、イベントへの参加
- **問合せ先**　☎(32)3584(川村貴史)

合併後、初となるみなとまつりには、旧唐桑町の地域からも数団体が参加し、まつりを盛り上げることになっています。この中の一つ「宿打ち囃子獅子舞保存会」は、平成14年から、まつりの最後を飾る打ち囃子（はやし）の競演に出演しています。

宿打ち囃子獅子舞は、３００年ほど前から宿地区に伝えられているといわれています。地元の神社の祭典で、奉納されていましたが、戦前に一端、途絶えてしまいました。

昭和47年、地域の伝統芸能をなんとか伝承していこうと、地元の若者たちが中心となり、復活に向けた取り組みが行われました。子どものころの記憶を頼りに、曲や打ち方などが復刻され、地域の方々に、見事に復活した芸を披露しました。

平成13年には、衣装を新調しましたが、演技を披露する機会が少なかったことから、平成14年からみなとまつりに参加することになったそうです。

演奏する曲目は、昔から伝わる９曲に、みなとまつりで演奏する５曲が加わり、最近では、ポップスをアレンジした曲も取り入れるなど、新たな試みも行っています。

事務局を努める川村さんは「中心となって活動しているのが20代から40代なので、機動性に富んでおり、要請があれば県外にも出かけています。以前は、子どもたちを含めて、大勢で演技をしていましたが、今は、少なくなっています。宿地区以外でも、参加したい方を受け入れるなど、みんなが積極的に入ってこれるよう心がけています」と話してくださいました。

図書館だより

問い合わせ先
市図書館　☎(22)6778

「図書館おすすめの50冊2006」を設置しました

図書館では、中学生や高校生にぜひ読んでもらいたい本を紹介する「図書館おすすめの50冊2006」を設置しました。

図書館の職員が実際に読んでみて、自信をもって薦められる本50冊を選びました。小説をはじめ、詩集、マグロ船の話、最近の言葉づかいに関する本、気楽に読める哲学の本など、様々なジャンルがそろっています。また、当地方を襲ったチリ地震津波に関する本など、郷土にまつわる本もあります。

「図書館おすすめの50冊2006」は、図書館カウンターの前に設置してあります。もちろん一般の利用者も借りることができます。

「なつかしの昭和 思い出のみなとまつりポスター・写真展」を開催

昭和から平成へ時代が移ってすでに18年になります。十年一昔といいますが、昭和という時代もだんだん遠い昔のことになっています。あの時代、貧しくても明日への希望に満ちていました。

図書館では、そんな昭和という時代にスポットをあてて7月29日から「なつかしの昭和 思い出のみなとまつりポスター・写真展」を開催しています。展示している写真は市民の皆さんに協力をお願いして集めたものです。写真の中にあの頃の自分や、会いたかった人がいるかもしれません。思い出の一枚を探してみてはいかがでしょうか。

■**日時**／8月13日(日)までの午前9時から午後5時まで
※月曜日は休館します。
■**場所**／市図書館2階フロア・会議室

8月のおはなし広場

今月のおはなし広場は、26日(土)午前10時30分から11時までです。

幼児から小学低学年を対象にした絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。

新着図書

一般室

- 「警察裏物語」 北芝健 著
- 「古典籍の装幀と造本」 吉野敏武 著
- 「国境・誰がこの線を引いたのか」 岩下明裕 編著
- 「ひよこのひとりごと」 田辺聖子 著
- 「新版 カフェをはじめてみませんか？」 籏智優子 著
- 「かんたん かわいい ミニ＆ベビー野菜ガーデニングノート」 淡野一郎 編
- 「超ビギナーのためのプリザーブドフラワー入門」 石川妙子 総監修
- 「江戸の絵暦」 岡田芳朗 著
- 「図解「化学」は図にするだけで面白い」 東京理科大学化学ブレイン

「風に舞いあがるビニールシート」

森絵都 著

有名人の秘書、ホステス、社会人、学生や仏像修復師などの、立場も環境も異なる6人が登場します。この6人の日常が淡々と綴られた地味な短編集ですが、表題作では、強風にあおられ、もみくちゃになって宙を舞うビニールシートとは何かを問いかけてきます。登場人物たちは日常の中から様々なことを学び前進していきます。地味だけれど、淡い色彩の抽象画のような優しさが感じられる一冊です。

児童室

絵本
- 「むしとあっぷっぷ！：どきどきにらめっこ」 白田久美 文・海野和男 写真
- 「リンゴ：津軽 りんご園の1年間」 叶内拓哉 文・写真
- 「ぞうくんのあめふりさんぽ」 なかのひろたか 作
- 「じてんしゃにのるアヒルくん」 デイビッド・ジャノン 作・小川仁央訳

文学
- 「牡丹さんの不思議な毎日」 柏葉幸子 著

盆舟流しは安置所へ

8月16日の「盆舟流し」には、次の表のとおり安置所を設けます。

海や川には流さないようご協力をお願いします。

■安置所には、8月16日(水)午前九時までに納めてください。

■火のついた線香とは別に納めてください。

■供物は必ず持ち帰ってください。

地区	安置所
気仙沼	観音寺・補陀寺・少林寺・法玄寺
鹿折	興福寺・浄念寺
松岩	松岩寺
新月	宝鏡寺
階上	杉ノ下漁港・海難者慰霊塔前・岩井崎水門前・長磯浜漁港・最知海岸水門前・川原漁港・千岩田漁港
大島・中井・唐桑・小原木	最寄りの集積所に納めてください

国民年金のお知らせ

■**問い合わせ先**／市環境課廃棄物対策係 ☎(23)1017

■**納付が困難な方は免除申請を**

国民年金保険料の納付が経済的に困難な場合、申請し承認を受けると、保険料の免除や納付を猶予される免除制度があります。

免除基準は本人・配偶者・世帯主の所得が審査の対象となりますが、免除制度が「全額免除」「半額免除」「4分の3免除」「4分の1免除」という4段階に細分化され、より納付しやすくなっています。

また、30歳未満の方には、世帯主の所得が審査対象とならない「若年者納付猶予」制度もあります。

免除を受けずに保険料が未納のままだと、2年で納められなくなりますが、免除を受けた保険料は、残りの保険料を納付すれば10年以内に追納することができます。

本年度の免除申請は、7月以降随時受け付けしていますので、電話や窓口などでご相談ください。

なお、失業を理由とする場合は、雇用保険受給資格証や離職票などを持参のうえ申請してください。

■**問い合わせ先**／市民課国民年金係 ☎(22)6600内線367
市唐桑総合支所市民生活課市民係 ☎(32)3130内線246

公民館行事

新気仙沼市誕生記念鼎浦高齢者スポーツ大会

■**日時**／8月30日(水)午前10時から

■**場所**／市総合体育館「ケー・ウエーブ」

三協力委員会合同青少年部「星を見る会」「宿泊学習」

■**日時**／8月3日(木)午後7時から

■**場所**／南運動広場

松岩地区高齢者スポーツ大会

■**日時**／8月24日(木)午前10時から

■場所／松岩公民館体育館

新月地区野球大会

■**日時**／8月13日(日)午前9時から

■**場所**／市営球場※雨天中止

階上地区青壮年ソフトボール大会

■**日時**／8月20日(日)午前8時30分から

■**場所**／階上中学校体校庭

リアス・アーク美術館嘱託員を募集

リアス・アーク美術館では、館内での受け付けや展示資料の看視などを行う嘱託員を募集します。

■**募集人員**／1人

■**応募資格**／昭和31年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた方で、高校卒業程度の学力を有する方

■**職務内容**／受け付け・展示資料の看視・施設運営など

■**雇用期間**／10月1日から平成19年9月30日まで(1年間)

■**勤務時間**／毎週水曜日から日曜日までの、午前9時から午後5時15分まで(1週30時間の交替制勤務)

■**申込方法**／リアス・アーク美術館備え付けの申込書に必要事項を記入し、写真を貼付のうえ直接申し込んでください。

■**申込期間**／8月20日(日)から9月3日(日)まで

■**試験日・試験内容**／9月10日(日)午前9時30分からリアス・アーク美術館(作文と面接試験)

■**申し込み・問い合わせ先**／リアス・アーク美術館 ☎(24)1611

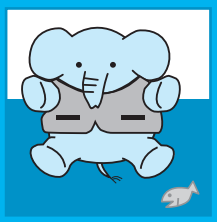
ライフジャケット(救命胴衣)を着よう!

思いがけない海難、海中転落事故・・・。

「万が一」はだれの身にもあり得ることです。

ライフジャケットは、そんな時にとても有効な道具や装備の一つです。

仕事やレジャーで海に出るときは、ライフジャケットを着用しましょう。



「ウクゾウ」

県北部地域中小企業支援センターをご利用ください

県北部地域中小企業支援センターは、創業予定者や経営革新などを図ろうとする事業者の相談窓口として開設されています。

専門家によるアドバイスも受けられますので、気軽にご相談ください。

■**相談日**／月曜日から金曜日までの午前10時から午後4時まで

※毎週水曜日は「特別窓口相談日」として、専門のコーディネーターが相談に応じます。

※毎月第2・3水曜日の午前10時から正午までは「金融特別窓口相談日」として金融に関する相談に応じます。

■**場所**／登米中央商工会内（登米市迫町佐沼字上舟丁12-6）

■**問い合わせ先**／県北部地域中小企業支援センター
☎0220（22）3681

県立気仙沼高等技術専門校 平成18年度後期生を募集

県立気仙沼高等技術専門校では、10月5日から入学予定の後期生を募集します。

■**募集科・定員**／溶接科・5人

■**応募資格**／義務教育修了以上の方で、転職や再就職を希望する方

※年齢や性別は問いません。

■**願書受付期間**／8月1日(火)から25日(金)まで

■**試験日**／8月29日(火)

※申込方法や試験科目など、詳しくはお問い合わせください。

■**申込・問い合わせ先**／県立気仙沼高等技術専門校
☎（22）7068

個人事業税は納期内に納めましょう

平成18年度個人事業税の納期限は、第1期分が8月31日まで、第2期分が11月30日までとなっています。納税通知書が届いたら、忘れずに、最寄りの金融機関や気仙沼県税事務所などで納めましょう。

納付の際は便利な口座振替制度がありますのでご利用ください。県税事務所の窓口では、納税相談も随時行っていますので、詳しくはお問い合わせください。

■**問い合わせ先**／県気仙沼県税事務所納税班
☎（24）2121
内線207・209・210

水道本管・給水管の漏水調査にご協力を

市では、8月から12月まで、昼夜にわたり市内全域の水道本管・給水管漏水調査を行います。

昼間は民有地に立ち入る場合もありますので、市民の皆さまのご協力をお願いします。

なお、この調査は、市の腕章と身分証明書を携帯した業務委託先の業者が行います。

また、料金をいただくことはありません。

■**実施期間**／
8月7日(月)ころから
12月26日(火)ころまで

■**問い合わせ先**／
市ガス水道部工務課
漏水防止係
☎（23）2560

市営住宅の入居者を募集

■市営岩月住宅（単身可）

・**所在地**／岩月宝ヶ沢232番地5
・**建設**／昭和43年度
・**募集戸数・住宅タイプ**／1戸・2K
・**家賃**／月額3、400円から7、600円

■市営鶴巻住宅（単身可）

・**所在地**／松崎鶴巻40番地1
・**建設**／昭和46・47年度
・**募集戸数・住宅タイプ**／3戸・2K
・**家賃**／4、200円から9、600円

■**入居資格**／
①同居する親族がいる方（単身の方が申し込む場合は、他に条件があります。詳しくはお問い合わせください。）
②持ち家がなく現在住宅に困っている方
③市税の滞納が無い方
④所得が基準額以下の方

■**入居予定日**／8月31日(木)ころから

■**申込期間**／8月2日(水)から11日(金)まで

■**申込方法**／市都市計画課（市役所第2庁舎2階）か、市唐桑総合支所建設課に直接申し込んでください。

■申込・問い合わせ先／

市都市計画課建築住宅係
☎（22）6600内線585
市唐桑総合支所建設課住宅下水道係
☎（32）4526

市社会福祉事務所からのお知らせ

児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届
母子・父子家庭医療費助成制度の更新申請
を受け付けます

Q 児童扶養手当とは

父と生計を別にし、18歳になった年の年度末までの児童を養育している方（母親や、母親にかわり養育している方）で、

■父母が離婚している
■父が心身に重度の障害をもっている
■父が死亡している

などの事由に該当する場合に支給される手当です。

※ただし、母親や母親にかわり養育している方が公的年金などを受給している場合は受けられません。

Q 特別児童扶養手当とは

心身に重度の障害のある20歳未満の児童を養育している方（父か母、または父母にかわって養育している方）に支給される手当です。

※ただし、児童が施設へ入所している場合は受けられません。

Q 母子・父子家庭医療費助成制度とは

18歳になった年の年度末までの児童を養育している母子家庭の母と児童、父子家庭の父と児童、または、父母のいない児童にかかる医療費の一部を助成する制度です。

※ただし、生活保護、その他の法令などにより医療費の全額給付を受けられる場合は、受けられません。

※いずれも、所得制限や支給条件があります。
受給要件に該当するかどうかは、電話などでお問い合わせください。

■問い合わせ先／
市社会福祉事務所児童福祉係
☎（22）6600内線442
市唐桑総合支所保健福祉課福祉係
☎（32）4811

現況届・更新申請について

児童扶養手当・特別児童扶養手当を受給している方

■児童扶養手当
・日時／8月1日（火）から18日（金）までの、午前9時から午後4時まで

■特別児童扶養手当
・日時／8月11日（金）から18日（金）までの、午前9時から午後4時まで

※土・日曜日は除きます。

＜持参するもの＞
①手当証書　②世帯全員の住民票の写し（特別児童扶養手当の受給者は不要です）
③印鑑　④その他、通知書に記載されている書類

母子・父子家庭医療費を受給している方

・日時／8月1日（火）から18日（金）までの、午前9時から午後4時まで

※土・日曜日は除きます。

＜持参するもの＞
①世帯全員の住民票の写し（児童扶養手当の受給者は不要です）　②印鑑
③健康保険証　④母子・父子家庭医療費受給者証　⑤付加給付に関する証明

提出場所　いずれも市社会福祉事務所（本庁舎東側建物）または、市唐桑総合支所保健福祉課（燦さん館内）

夏休みだよ！みんな児童館であそぼ～

市児童館では、夏休み期間中、様々な楽しい活動を行います。

古町児童館 ☎(23)4648
8月10日(水)午前10時　スイカ割り
8月19日(土)午前10時　夏の思い出・お楽しみ工作会
8月23日(水)午前10時　小枝をつむぐ

赤岩児童館 ☎(22)6879
8月8日(火)午前9時30分　木工あそび（20人限定）
8月19日(土)午後　きもだめし

大島児童館 ☎(28)2655
8月3日(木)午前10時30分　スイカ割りと水てっぽうあそび
8月10日(木)午前10時　ストーンアート

鮎立児童館 ☎(32)3189
8月5日(土)午前10時　アウトドア
8月26日(土)午前10時30分　児童館まつり

問い合わせ先
市教育委員会生涯学習課生涯学習係☎(22)3442

8月のこどもひろば

こどもひろば
■日時／8月3日(木)・8月17日(木) 午前10時から
■場所／市総合市民福祉センター「やすらぎ」

みなみこどもひろば
■日時／8月30日(水) 午前10時から
■場所／赤岩児童館

※8月10日(木)予定の「ふれあいこどもひろば」（恵潮苑会場）はお休みします。

8月の子育てテレホン講座

☎(23)3900

日　程	対　象	テ　ー　マ
7/31～8/6	小学生	ちょっとした工夫で勉強好きにする②
8/ 7～13		落ち着きのない子ども
8/14～20		ちょっとした工夫で勉強好きにする③
8/21～27		よく嘘をつく子ども
8/28～9/3		健康な体

8月の各種相談

相談は無料で秘密は守られますので、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

相談内容	時間	場所	担当
市政・一般相談	月曜日～金曜日 9：00～16：00	市役所市民相談室	市民相談室 ☎(22)3411
登記相談	1日(火) 10：00～12：00	市役所市民相談室	市民相談室 ☎(22)3411
弁護士相談	10日(木) 11：00～15：30 (定員8人・申し込みは1日から)	市役所市民相談室	市民相談室 ☎(22)3411
行政・法律・人権相談	21日(月) 10：00～15：00 (行政・人権は委員宅で毎日)	市地域交流センター	市民相談室 ☎(22)3411
定例人権相談	10日(木) 10：00～15：00	唐桑公民館	市唐桑総合支所総務企画課 ☎(32)4520
定例行政相談	10日(木) 13：00～15：00	唐桑公民館	市唐桑総合支所総務企画課 ☎(32)4520
消費生活相談	月曜日～金曜日 9：00～16：00	市役所市民相談室	市商工課 ☎(22)3437
高年齢者求人・求職相談	月曜日～金曜日 8：30～17：00	高年齢者職業相談室 （市役所第2庁舎内）	市商工課 ☎(22)6600内線524
家庭児童相談	月曜日～金曜日 9：00～16：00	市役所社会福祉事務所	市社会福祉事務所 ☎(22)6600内線445
夫やパートナーからの暴力(DV)相談	月曜日～金曜日 8：30～17：00	市役所内 ※相談専用電話(24)5988	市男女共生推進室 ☎(24)5988
高齢者福祉・介護、生活相談	月曜日～金曜日 8：30～17：00	・地域包括支援センター（市民健康管理センター「すこやか」内） ・地域包括支援センター唐桑分室（保健福祉センター「燦さん館」内）	市地域包括支援センター ☎(21)1212 市地域包括支援センター唐桑分室☎(32)4811
青少年相談	月曜日～金曜日 10：00～16：00	市青少年育成支援センター青少年相談室（中央公民館体育館内）	市青少年育成支援センター ☎(24)0766
ふれあい相談（福祉・生活）相談	月曜日～金曜日 9：00～15：00	気仙沼市社会福祉協議会 （総合市民福祉センター「やすらぎ内」） ※必要に応じ電話相談などを実施	社会福祉協議会 ☎(22)0709 唐桑支所 ☎(31)2051
社会保険相談	2日(水)・9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水) 9：10～15：30	市地域交流センター	石巻社会保険事務所 ☎0225(22)5115

※相談時間は、正午から午後1時までを除きます。

ふるさと再発見！

九九鳴き浜（くくなはま）

市唐桑町舞根地区にある小さな砂浜海岸で、大島瀬戸に面し、大島北東部の外浜の対岸にあたります。

東西230m、幅10mから15mで、東端部が比較的広く、南に開いた内湾性の浜です。車が入る道路からは離れているため、訪れる観光客はほとんどなく、ひっそりとしています。

すり足で歩くとクックッあるいはキュッキュッと音がする鳴り砂（鳴き砂）の浜として知られています。市内には、九九鳴き浜のほかに大島の十八鳴浜（くくなりはま）が鳴り砂の浜として有名です。

鳴き砂は石英が主成分で、きれいな状態でないと鳴りません。海が汚れたり、ゴミが多くなるとたちまち鳴らなくなります。この貴重な鳴り砂の浜を守ろうと、海友会や小学生と保護者、地域住民などが、ボランティアで清掃作業を行っています。

8月の主な行事

●日程などは変更される場合があります。

4日(金)　青少年ピースフォーラム結団式
・時間／午前10時～　・場所／市役所第三応接室

5日(土)・6日(日)　第56回みなとまつり
・時間／5日午後4時～　・場所／内湾一帯

10日(木)・11日(金)　子ども市民大学
・時間／10日午前10時～　・場所／市地域交流センター大ホールほか

15日(火)　戦没者を追悼し平和を祈念する日
・時間／正午～　・場所／三峰公園

8月の納期

▶市県民税（2期）
▶国民健康保険税（2期）

8月31日(木)が納期限です
納期限内に納めましょう

※口座振替の方は残高の確認をお願いします。

R100 PRINTED WITH SOY INK
古紙配合率100%　白色度70%再生紙　大豆油インキを使用しています

広報 けせんぬま（毎月1日発行）
編集／気仙沼市秘書広報課　〒988－8501　宮城県気仙沼市八日町1丁目1番1号
☎0226(22)6600内線207・208　ホームページアドレス　http://www.city.kesennuma.lg.jp/
Eメール　h-koho@city.kesennuma.lg.jp